

2019年4月19日
株式会社東陽テクニカ

世界初の 200Gbps 対応！
大容量パケットキャプチャ/解析システム
「SYNESIS」ポータブル型・200G モデルを開発
～Interop Tokyo 2019、MWC Shanghai 2019 に初展示～

株式会社東陽テクニカ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：五味 勝）は、自社開発製品の大容量パケットキャプチャ/解析システム「SYNESIS」シリーズに、主要なイーサネット規格である1G/10G/40G/100GbE（ギガビットイーサネット）に対応したモデルを揃え販売しています。

今回新たに、200Gbps 対応の「SYNESIS」ポータブル型・200G モデルを開発いたしました。これは、世界で初めて※1200Gbps のトラフィックでも取りこぼすことなく連続して 100%キャプチャし、高速大容量ネットワークに発生する通信障害でも、迅速に正確な解析を実現する LAN アナライザです。2019年6月中旬に受注開始、2019年10月の発売予定です。「SYNESIS」のラインアップをより一層強化し、事業の拡大を図ってまいります。

なお、本製品を Interop Tokyo 2019（会期：2019年6月12日（水）～14日（金）、会場：幕張メッセ、ブース番号：6A04）ならびに MWC Shanghai 2019（会期：2019年6月26日（水）～28日（金）、会場：Shanghai New International Expo Centre (SNIEC)、ブース番号：N4.F95）に初展示いたします。



【 開発背景 】

IoT の普及によるネットワークに接続されるデバイスの増加、ビッグデータ解析の進展、5G の商用サービス開始などによってネットワークの高速・大容量化が急速に進んでおり、通信事業者は 100Gbps の通信速度を保証した通信サービスの提供を増やしています。そこでは、ファイアウォールやロードバランサなどネットワークを構成するネットワーク機器も通信速度 100Gbps に対応したものを使用し、通信事業者は送信・受信合わせて 200Gbps の通信品質を顧客に保証しています。

しかし、ネットワークで障害が発生した際 200Gbps に対応できるパケットキャプチャがなく、迅速・正確な障害解析と対策の実施ができないことが課題となっています。

そこで東陽テクニカは、この課題を解決し高速大容量の通信サービスの品質向上に貢献するため、大容量パケットキャプチャ/解析システム「SYNESIS」ポータブル型・200G モデルを開発しました。



大容量パケットキャプチャ/解析システム
「SYNESIS」ポータブル型・200G モデル

【製品概要】

大容量パケットキャプチャ/解析システム「SYNESIS」ポータブル型・200G モデルは、ネットワークを流れる最大 200Gbps までのトラフィックをキャプチャし、その統計やパケットの翻訳を表示する世界初の LAN アナライザで、高速トラフィックの通信障害解析を目的とした大容量パケットキャプチャ/解析システムです。特許技術^{※2}を搭載し、全てのパケットをとりこぼさなく 100%かつ連続してキャプチャできることから、通信事業者は 200Gbps のトラフィックが流れるネットワークで障害が発生した場合でも、迅速・正確な障害解析ができ、200Gbps のトラフィック品質を保証する通信サービスの提供が可能になります。また、障害発生によるネットワークダウンタイムの損害を低減するとともに、企業価値の毀損防止に貢献します。加えて、持ち運び可能なポータブル型で複数地点を移動して使用できるため、データセンター毎のシステム設置が不要となり、導入コストの削減に寄与します。

今後も東陽テクニカは、「“はかる”技術で未来を創る」のスローガンのもと、最先端のネットワーク解析・監視システムの提供を通じ、通信サービス的高速化と品質の向上に貢献してまいります。

【主な特長】

- ✓ ロスしないパケットキャプチャ力
高速な 200Gbps のトラフィックでもとりこぼさなく、連続して 100%確保
- ✓ 持ち運び可能
必要な現場に持ち込んでオンサイト解析が可能な、ポータブル型
- ✓ 高速なパケット抽出力
ディスク書き込み時にインデックス情報を同時に保存、検索時間を大幅に短縮
→蓄積したパケット情報から、必要なデータを高速で抽出・解析可能

【製品データ】

- ・ 製品名：大容量パケットキャプチャ/解析システム「SYNESIS」ポータブル型・200G モデル
- ・ 販売価格：7,980 万円（税別）
- ・ 受注開始：2019 年 6 月中旬
- ・ 発売時期（予定）：2019 年 10 月

【Interop Tokyo 2019 に出展】

本製品を、国内最大級のインターネットテクノロジーイベント Interop Tokyo 2019 に展示します。

- 会期：2019 年 6 月 12 日（水）～14 日（金）
- 会場：幕張メッセ
- ブース番号：6A04
- 展示会公式サイト：<https://www.interop.jp/>

【 MWC Shanghai 2019 に出展 】

本製品を、アジア最大のモバイル関連の国際見本市 MWC Shanghai 2019 に展示します。

- 会期：2019年6月26日（水）～28日（金）
- 会場：Shanghai New International Expo Centre (SNIEC)
- ブース番号：N4.F95
- 展示会公式サイト：<https://www.mwcshanghai.com/>

- ※1 200 ギガビット・フルレートパケットキャプチャ・ポータブル型において。2019年4月9日現在。東陽テクニカ調べ。
- ※2 キャプチャしたパケットデータを記憶装置に書き込んで保存する際に、ソフトウェアで「並列書き込み」と「ロードバランス」を実行することによって、取得したデータを複数の内部記憶装置へ書き込むプロセスをコントロールし、性能低下の問題を解決した技術。並列書き込みとは、個々の記憶装置毎に書き込み処理を並列化して実行することであり、ロードバランスはある記憶装置で書き込み性能が低下した際に、書き込み性能が高い記憶装置を選んで次のデータを割り振る処理を言う。この書き込み高速化の仕組み（高速データ書き込み技術）の開発によって、自社開発製品の大容量パケットキャプチャ/解析システム「SYNESIS」は、100Gbps および 200Gbps でも全てのパケットを長期間ロスすることなくキャプチャし続けることに世界で初めて成功した。

<ニュースリリース>

世界唯一！ 100 ギガビットイーサネットのフルキャプチャを支えるコア技術

大容量パケットキャプチャ/解析システム「SYNESIS」に搭載の高速データ書き込み技術で特許を取得

https://www.toyo.co.jp/files/user/corporate/doc/release/180904_TOYO_patented%20product%20SYNESIS_66147.pdf

<株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは 1953 年の創立以来、世界最高水準の“はかる”技術の提供をコアコンピタンスとし、最先端の測定機器の輸入販売と自社開発製品の提供によって、官公庁、大学ならびに企業の研究開発を支援してきました。技術分野は、情報通信、自動車計測技術、環境エネルギー、EMC（電磁両立性）試験、海洋調査、ソフトウェア開発支援、ライフサイエンスなど幅広く、米国や中国の現地法人などを通じて世界にも提供しています。

また、2016～2017 年にかけて新しい 3 組織「セキュリティ&ロボカンパニー」「技術研究所」「ワン・テクノロジー・カンパニー」を設立。サイバーセキュリティサービスの提供、自動運転車の開発支援、AI（人工知能）を使ったデータ解析など、新しいソリューションの創造に取り組んでいます。

東陽テクニカは「“はかる”技術で未来を創る」のスローガンのもと、これからも産業界の発展と安全で環境にやさしい社会づくりに貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト：<https://www.toyo.co.jp/>

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ 情報通信システムソリューション部

TEL : 03-3245-1250 (直通) E-mail : synesis-sales@toyo.co.jp

「SYNESIS」ポータルサイト : <https://www.synesis.tech/>

「SYNESIS」紹介動画 : <https://www.youtube.com/watch?v=P4mybA60nGo>

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。